

チャンディ・プランバナ

青山 亨
東京外国語大学外国語学部
インドネシア語専攻

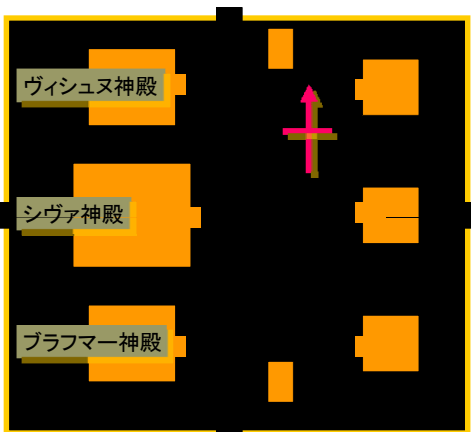
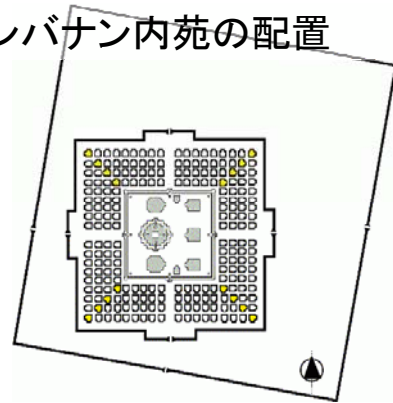
プランバナンの概要

- チャンディ・プランバナ
- チャンディ: 石造・煉瓦作り宗教建築遺構
- 別称ロロ・ジョングラン
- 中ジャワ州 プランバナ
- 9世紀中頃、ヒンドゥー教を信奉するマタラム王朝(サンジャ王朝)によって創建
- 内苑は四方110m。
- 北にヴィシュヌ神殿、中央にシヴァ神殿、南にブラフマー神殿。
- シヴァ神殿は高さ47m。内部に4体の神像。
- 回廊には『ラーマーヤナ』などの浮き彫り

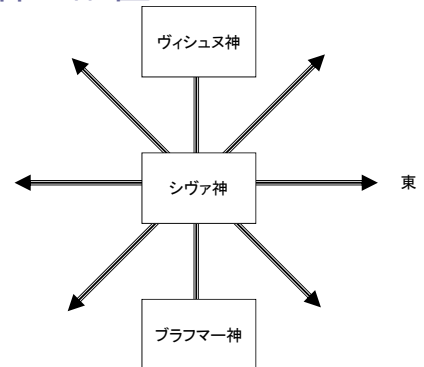
プランバナンの歴史

- 10世紀にマタラム王朝の中心は東ジャワに移動
- 16世紀の地震で大破
 - ジャワがイスラーム化したため忘却される
 - ロロ・ジョングラン(すりとした乙女)の伝説
- 1937年からオランダが再建修復事業
- 1991年、ユネスコ世界遺産に登録
- 2006年5月27日、中部ジャワ地震で被害

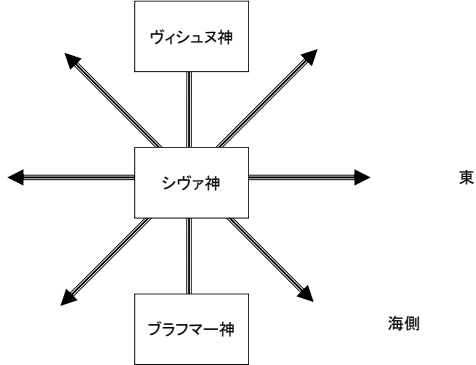
プランバナ



三大神の配置



バリ島のヒンドゥー信仰



トゥリムルティ

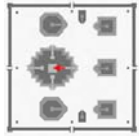
□ 新しい神々

- ブラフマー神: 世界の創造
- ヴィシュヌ神: 世界の維持
- シヴァ神: 世界の破壊

□ 古い神々

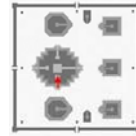
- アグニ神: 火
- スーリヤ神: 太陽
- ブラフマー神(梵天): 本来はブラーフマン(梵)
- インドラ神(帝釈天): 雷神、神々の王

シヴァ神殿中心(東面)の像



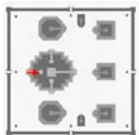
シヴァ神

シヴァ神殿南側の像



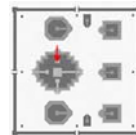
アガスティヤ仙、もしくは、
パタラ・グル神

シヴァ神殿西側の像



ガネーシャ

シヴァ神殿北側の像



阿修羅の王マヒシャを退治
するドゥルガー女神

ロロ・ジョングランの伝説

- バンドウン・ポンドウォソは王女ロロ・ジョングランに求婚するが、王女は父親ポコ王を殺した男との結婚を拒絶する。
- しつこい求婚に対して、王女は、男が一晩で1000基のチャンディを建造することを条件に、結婚を承諾する。
- 男は地霊たちの力を借りて999基まで建設を進める。驚いた王女は村人たちに米をつかせ、火をおこして朝が来たように見せかける。
- だまされたと知った男は王女を石に変える。

回廊の浮き彫り

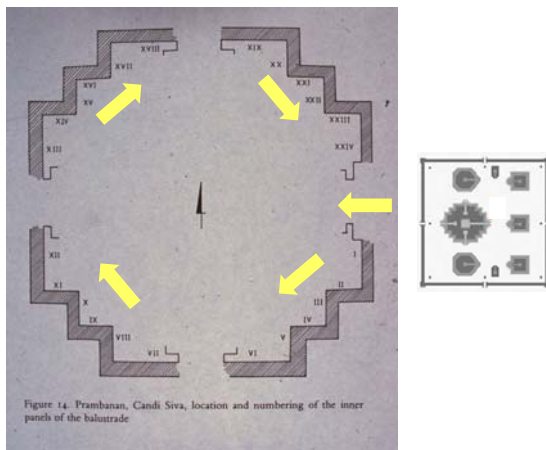
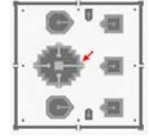


Figure 14. Prambanan, Candi Siva, location and numbering of the inner parts of the balustrade

ラーマーヤナ物語

- 王都アヨーディヤーの王子ラーマは、后シーター、弟ラクシュマナとともに、14年間、森に追放される。
- 森の中で、シーターは魔王ラーヴァナに誘拐され、魔都ランカーに幽閉される。
- 行方不明になったシーターをラクシュマナとともに探すラーマは、猿の王スグリーヴァと盟友となる。
- スグリーヴァの家来ハヌマーンの活躍で、シーターの居所を突き止めたラーマは、猿の軍団を引き連れて、ランカーに攻撃をしかける。
- 激戦の末にラーヴァナを倒したラーマは、シーターを連れてアヨーディヤーへ凱旋する。

まとめ: プランバナン寺院

- 9世紀におけるジャワのヒンドゥー教信仰
- 「ヒンドゥー教百科事典」的性格
- プラーフマー神、ヴィシュヌ神、シヴァ神
- シヴァ神: 4体の神像
- ヴィシュヌ神: 「ラーマーヤナ」の浮き彫り

参考文献

- 岩本裕(訳)『ラーマーヤナ』1、2(平凡社東洋文庫) 平凡社、1995、2000.
- 金子量重、坂田貞二、鈴木正崇(編)『ラーマーヤナの宇宙—伝承と民族造形』春秋社、1998.

引き続きビデオをご覧ください。

TBS 世界遺産 第208回
2000年7月2日放映
「プランバナナ寺院遺跡群」24分